

# やさい週間情報(第28号)

平成29年10月20日(金)  
全農あおもり やさい花き課

品名 ながいも No.1

事務所	主産地	主等力級	現在の価格	来週の予想価格	市場在庫状況	小売り状況	販売状況
東京	本県産	A4L	4,500~4,300	4,000	—	1本売り (2L・L) 398~298円	本県産中心に北海道産の販売。 28年産の洗浄が終盤となり、本県産の入荷は減少傾向にあるものの、北海道産の潤沢な入荷が続いていることや、安価な転送品の出回りから流通在庫が多く、加えて両産地の品質不良が散見されていることから、販売環境の悪い状況が続いている。 継続して京浜管内各地での消費宣伝会を実施し売価も下がったことから、L・M級において一本売り等の販売も増えている。しかし、気温の低下から消費が減退していることから、次週についても価格を下げた中で荷動きの回復を図る。
		A3L	4,500~4,300	4,000			
		A2L	4,200~4,000	3,700~3,500			
		A L	4,000~3,800	3,700~3,500			
		A M	3,500~3,300	3,200			
		B4L	4,200~4,000	3,700~3,500			
		B3L	4,200~4,000	3,700~3,500			
		B2L	4,000~3,800	3,500~3,300			
		B L	3,500~3,300	3,500~3,300			
		B M	3,000~2,800	3,000			
		C2L	3,300~3,000	2,800~			
		C L	3,000~2,800	2,500~			
名古屋	本県産 北海道産	A4L	4,300~	4,300~	多い	1本売り 398~298円	本県産・北海道産中心の販売となっている。 ながいも全体の流通量は落ち着いてきている中、A・B品については、末端売価を下げた中での企画販売の実施もあり荷動きは回復傾向にある。ただ、C品については流通量の多さと依然品質への懸念があることから、緩慢な荷動きとなっており、下げ基調の販売。 来週以降についても、A・B品については今週同様に販売企画が組まれていることから概ね保合での販売が見込まれるが、C品については引続き厳しい販売が続く見込み。
		A3L	4,300~	4,300~			
		A2L	3,800~	3,800~			
		A L	3,500~	3,500~			
		A M	3,300~	3,300~			
		B4L	3,700~	3,700~			
		B3L	3,700~	3,700~			
		B2L	3,500~	3,500~			
		B L	3,300~	3,300~			
		B M	2,800~	2,800~			
		C2L	2,800~	2,800~			
		C L	2,300~	2,300~			

品名 ながいも No.2

事務所	主力地	主力等級	現在の価格	来週の予想価格	市場在庫状況	小売り状況	販売状況
大阪	本県産 北海道産	A4L A3L A2L A L B4L B3L B2L B L C2L C L	4,000～ 4,000～ 3,800～ 3,600～ 3,500～ 3,500～ 3,000～ 2,800～ 2,500～ 2,000～	4,000～ 4,000～ 3,800～ 3,600～ 3,500～ 3,500～ 3,000～ 2,800～ 2,500～ 2,000～		カット 88～59円/100g	北海道産を中心に本県産の販売。 安価な転送品とイタミの発生が多い状態が続いており、厳しい販売環境となっている。また、青果会社によって異なるが、特定の等階級を指定した注文は増えてきており、少しずつではあるが荷動きは回復してきている。ただ、注文はA品・B品に片寄っており、末端売価が下がってきたことと、イタミの発生率の高さから、C品の販売は依然として苦戦をしいられている。 来週についても、価格は弱保合推移となる見込みだが、消費宣伝会を積極的に開催し荷動きの回復に努める。
九州	本県産	A4L A3L A2L A L B4L B3L B2L B L C2L	4,000～3,500 4,000～3,500 3,500～3,300 3,300～3,000 3,500～3,000 3,500～3,000 3,200～3,000 3,000～2,800 2,500～2,200	4,000～3,500 4,000～3,500 3,500～3,300 3,300～3,000 3,500～3,000 3,500～3,000 3,200～3,000 3,000～2,800 2,500～2,200		カット 100g 78～68円	10月に入ってから本県産の入荷増と、品質懸念および気温の低下による消費の減退で、価格は一気に下げ基調となっている。 特に、品質懸念から仲卸が在庫を持ちたがらず、量販店の売場構成も狭いことから、荷動きが非常に鈍くなっている。 量販店によっては、L級1本298円も見られてきているが、青果物全般に荷動きが鈍い状態が続いており、ながいもについても現状の販売環境には変化がなく、引続き厳しい販売となるが、柔軟な価格帯によって売価の下げを図る。
東北	本県産 北海道産	A4L A3L A2L A L B4L B3L B2L B L C2L C L	4,500～4,000 4,500～4,000 4,200～3,800 4,000～3,500 4,000～3,600 4,000～3,600 3,600～3,200 3,500～3,000 3,200～2,800 3,000～2,600	4,500～4,000 4,500～4,000 4,200～3,800 4,000～3,500 4,000～3,600 4,000～3,600 3,600～3,200 3,500～3,000 3,200～2,800 3,000～2,600	なし	1本売り 398～350円  カット 100g 84～78円	本県産中心の販売。 引続き、荷動きの鈍い中、イタミ等の発生も多く、市況は下げ基調での推移となっている。また、安価な転送品も減少しておらず、販売環境の良くない状況が続いている。 来週についても、東市場への入荷は変わらないものの、荷動きの緩慢な状況は続くものと思われ、市況は弱含み推移の見込み。

品名 にんにく No.1

事務所	主力地	主力等級	現在の価格	来週の予想価格	市場在庫状況	小売り状況	販売状況
東京	本県産	A 2 L A L A M	2,600~2,500 2,200~2,000 1,800~1,700	2,600~2,500 2,200~2,000 1,800~1,700	—	L 1 P 298~258 円 M 1 P 198~178 円 中国産 3 P 100 円 スペイン産 1 P 158~98 円	本県産中心の販売。 本県産系統並びに商系業者の入荷が微増傾向ではあるが、全体的な不足感は依然として続いており堅調な価格での販売推移となっている。特に出荷比率の低い 2L 級は強めの展開だが、出荷比率の高い M 級についてはやや弱めの相場展開となっている。 各社からの出荷の要望は引続き強いことから、早期の出荷をお願いします。
名古屋	本県産	A 2 L A L A M B 2 L B L B M	2,600~ 2,400~ 2,000~1,800 2,400~ 2,200~ 1,800~1,600	2,600~ 2,400~ 2,000~1,800 2,400~ 2,200~ 1,800~1,600	少ない	L 1 P 298~198 円	本県産中心の販売となっている。 徐々に出荷量が増えてきたものの、不足感は解消しきれず、比率の低い 2L・L を中心に堅調な販売が続いている。 来週以降、徐々に出荷量が増えてくる見込みとなっているものの、依然引合いは強く堅調な販売が見込まれる。
大阪	本県産	A 2 L A L A M	2,500~ 2,400~2,000 1,800~	2,500~ 2,400~2,000 1,800~		L 1 P 298 円	本県産中心の販売。 本県産の入荷量は徐々に増えてきているものの、まだ品薄感が残っており、引合いは非常に強い状況で、堅調な販売が続いている。 来週については、入荷量横ばいとなるため、引続き堅調な販売となる見込み。
九州	本県産	A 2 L A L A M	2,400~2,200 2,200~2,000 1,700~1,500	2,400~2,200 2,200~2,000 1,700~1,500			本県産の管内への冷蔵品の入荷が来週からとなり、ほぼ入荷がないことから強めの販売で推移する。 量販店では中国・スペイン産の売場が拡張されていることから、今後、本県産は計画的な出荷量によって売場を拡張させていくことが肝要と思われる。
東北	本県産	A 2 L A L A M	2,600~2,500 2,300~2,200 1,900~1,800	2,600~2,500 2,300~2,200 1,900~1,800	なし	L 1 P 298 円	今週より、東北市場への入荷が再開し始めたものの、引き続き、不足感が非常に強く。発生率の少ない 2L 級を中心に強保合い推移。 本県産の入荷が回復する 10 月下旬までは、市況は強保合いでの販売となる見込み。

品名 ご ぼ う No. 1

事務所	主力地	主力等級	現在の価格	来週の予想価格	市場在庫状況	小売り状況	販売状況
東京	本県産 群馬県産	本県産 A2L AL AM  (4K) AM	1,600~1,500 2,000~1,800 2,200~2,000  900~ 800	1,600~1,500 2,000~1,800 2,200~2,000  900~ 800			<p>本県産中心に北海道産、茨城産の販売となっている。</p> <p>徐々に本県産の入荷が増加しているものの、総体的には少なく特にLM級を中心に引合いは強まっている。北海道産については太物中心の入荷、本県産についても太物が入荷が徐々に増えつつあり3L、2L級についてはやや引合いが弱いものの、概ね保合での販売。</p> <p>消費地の気温低下や売場の秋商材への切り替えから、売場面積も広がっているため、引続き継続的な出荷をお願いします。</p>
名古屋	本県産 北海道産	AM A2M AS A2S	2,300~ 2,300~ 2,000~ 1,600~	2,300~ 2,300~ 2,000~ 1,600~		2M2本入 198~178円	<p>本県産および北海道産中心の販売となっている。</p> <p>降雨の影響から収穫作業が遅れ、出荷量が増えきらない中、本県産は一定の売場は確保しており、堅調な販売が続いている。</p> <p>来週については、気温の低下が見込まれる中、特売も組まれていることから、引続き安定した販売が見込まれる。</p>
大阪	北海道産 本県産 関東産	A3L A2L AL AM A2M AS A2S	1,500~ 1,600~ 1,800~ 2,100~2,000 2,200~ 2,000~ 1,600~	1,400~ 1,600~ 1,800~ 2,000~ 2,200~ 2,000~ 1,600~		2Mハーフ 198円/P  S1P 158円/P	<p>北海道産・本県産・関東産の販売。</p> <p>今週は北海道産の増量により、入荷量は増加した。また、加工業者は毎月いっぱい価格が下がり続けると予想し買い急いでいないため、若干ではあるが荷動きは鈍化してきている。しかし、量販店等の売場は秋商材に切替っているため、一定した需要はある。</p> <p>来週については、他産地の増量が鈍いため、価格は保合の見込み。</p>
九州	本県産	A2L AL AM	2,000~1,800 2,200~2,000 2,300~2,200	2,000~1,800 2,200~2,000 2,300~2,200			<p>九州各産地の流通在庫が残り、売場は土付き・洗いとも本県産の売場はまだ狭いが、業務・加工筋は九州産地の品質懸念から、本県産の発注量が増えてきている。</p> <p>ごぼう全般に流通量が極端に多いわけではないが、日中日が刺すとまだ暑く、量販店では鍋物商材の売場が広がっているものの、荷動きは良くはない。</p> <p>来週は現状の価格帯から太物は若干の下げも予想されるが、全体としては弱保合での推移となる見込み。</p>

品名 ご ぼ う No. 2

東 北	本 県 産	4 k g				本県産の入荷量はやや増加しているが、気温の低下から末端の需要が出てきており、荷動きは良好。 絶対量はまだまだ足りないが、今後の増量を見越して、市況は保合推移に留まっている。 来週についても、本県産の入荷は変わらないことから、市況は強保合推移の見込み。
		A 3 L	600~500	600~500		
		A 2 L	700~600	700~600		
		A L	900~800	900~800		
		A M	1,000~900	1,000~900		

品名 だ い こ ん

事務所	主 力 地	主 力 級	現在の価格	来週の予想価格	市場在庫 状 況	小売り 状 況	販 売 状 況
東 京	北 海 道 産	A 2 L	600~500	600~500	-	1 本 128 円	本県産、関東近在産の販売となっている。 本県産の入荷が少なく、加えて関東近在産については、天候不順の影響から週末にかけて入荷の不安定な状況となった。週末には特売等の売り込みから引合いが強く相場についても強保合での販売となった。 天候次第ではあるが、来週後半には関東近在産の入荷も回復する見込みから再び販売苦戦が予想される。
	本 県 産	A L	700~600	700~600		ハーフカット 70~65 円	
名 古 屋	本 県 産	A 2 L	700~600	700~ 600		1 本売り 198~158 円	本県産および北海道産中心の販売となっている。 北海道産が徐々に減少、北陸産や愛知産が徐々に増量となっている中、週末にかけて天候不順の影響から入荷がやや減ったことから強保合での販売となった。 来週については、前半は台風の状況によっては入荷が不安定になる可能性もあることから、引合いがやや強まる見込み。
	北 海 道 産 新 潟 県 産	A L	800~700	800~ 700			
東 北	本 県 産	平 場			-		本県・北海道産中心の販売。 今週は本県・北海道産ともに潤沢な入荷となったなか、依然として荷動きは鈍く、市況は弱含みとなった。 来週についても、各産地入荷量は変わらないことから、市況は軟調推移となる見込み。
		A 2 L	700~500	700~500			
		A L	800~700	800~700			
		高 冷 地					
		A 2 L	800~700	800~700			
		A L	900~800	900~800			

品名 こ か ぶ

事務所	主 力 地 産	主 力 級 等	現在の価格	来週の予想価格	市場在庫 状 況	小売り 状 況	販 売 状 況
東 京	本 県 産 関東近在産	A 2 L A L 5 玉 結 束	700～ 500 700～ 500 80～ 50	700～ 500 700～ 500 80～ 50			<p>本県産と関東近在産の販売となっている。</p> <p>本県産については出荷調整や出荷終盤から入荷量は減少している。関東近在産の入荷についても天候不順から少なかつたものの、荷動きの改善には至らず、総体的に保合での販売となった。</p> <p>来週後半には天候が回復することから関東近在産の入荷も増量見込みで、再び販売苦戦が予想される。</p>
名 古 屋	本 県 産 北陸近在産	A 3 L	500	500			<p>本県産・北陸近在産中心の販売となっている。</p> <p>北陸産が本格化し、本県産の売場は縮小となっている中、ハウスと露地の端境から一時的に北陸産の入荷が少ない状況となったことから、価格については弱保合での販売となった。</p> <p>来週についても、厳しい販売環境は続くものの、本県産も終盤となり徐々に減少することから、価格については弱保合での販売が続く見込み。</p>
大 阪	本 県 産	A 3 L A 2 L A L	800～ 600 1,000～ 600 800～ 600	800～ 600 1,000～ 600 800～ 600			<p>本県産中心の販売。</p> <p>本県産の潤沢な入荷と、千葉・福井を中心とする他産地の入荷も増えていることから、販売環境は厳しくなってきた。また、販売の中心となる2L級を除き、価格は一段下げとなった。</p> <p>来週についても、価格は概ね下げ基調で推移する見込み。</p>
東 北	本 県 産	A 2 L A L	600～500 700～600	600～500 700～600			<p>引き続き、荷動き鈍く、今週より入荷量が減少となったが、市況は弱保合推移となった。</p> <p>来週についても入荷量は大きく変わらない見込みとなっており、市況は弱含みで推移する見込み。</p>

品名 トマト

事務所	主力産地	主力等級	現在の価格	来週の予想価格	市場在庫状況	小売り状況	販売状況
東京	本県産	A L A M A S	1,400~1,200 1,500~1,200 1,400~1,200	1,300~1,200 1,400~1,200 1,300~1,200			<p>東北産、関東近在産、愛知県産、熊本県産の販売となっている。</p> <p>各産地とも気温の低下や降雨が続いていることから、入荷量は非常に少なく、入荷量が不安定となっている。そのため発注の減少に加え、関東近在産や西南暖地への産地の切り替えも進んでいることから厳しい販売状況となっている。</p> <p>東北各産地については終盤となるものの、関東近在産や西南暖地の入荷は、徐々に増えてくる見込みで、更なる販売苦戦が見込まれる。本県産については、終盤から着色不良や裂果も多く見られており、出荷終了まで選果選別に留意して出荷をお願いします。</p>
	関東近在産	A M	1,500~1,300	1,500~1,300			
名古屋	本県産 北海道産 岐阜産	A L A M	1,600~ 1,500~	1,600~ 1,500~			<p>本県産・岐阜県産中心の販売となっている。</p> <p>本県産をはじめ夏秋産地が終盤となり、抑制物が増量となっている中、品質・着色面で上回る抑制物への引合いが強まっており、本県産については下げ基調での販売となった。</p> <p>来週以降については、本県産が徐々に減少となる中、売場の切替えも進む見込みから、厳しい販売が見込まれる。出荷終盤となっているが、品質・着色面での管理の徹底が望まれている。</p>

品名 ミニトマト

事務所	主力産地	主力等級	現在の価格	来週の予想価格	市場在庫状況	小売り状況	販売状況
東京	本県産	A L A M 3Kバラ	140~120 150~130 2,000~1,800	120~ 140~130 2,000~1,800			<p>東北産中心に関東近在産、愛知県産、熊本県産の販売。</p> <p>東北以北の産地については入荷が少なく関東近在産、愛知県産の順調な入荷が続いている。総体量は少ないものの特に出荷の多いバラ品を中心に荷動きの鈍い状況となっており先週に引続き厳しい販売環境となっている。</p> <p>来週以降、関東近在産をはじめ各産地の入荷も増えることから更なる販売苦戦が予想される。本県産を含む東北各産地については割れ等の品質不良品が増えてきたことから産地切替も進んでおり、本県産については弱含みでの販売となる見込み。</p>

品名 ピーマン

事務所	主力産地	主力等級	現在の価格	来週の予想価格	市場在庫状況	小売り状況	販売状況
東京	東北産 本県産	A L 袋	800～ 600 50～ 30	800～ 600 50～ 30			茨城県産中心に東北各県産の販売。 先週に比べると天候の影響から茨城県産秋作については入荷量は微減しており、総体量の減少により、週後半にかけて、強含みの販売で推移した。 来週についても引続き入荷量の不安定さから保合での販売となる見込み。本県産を始め東北各産地では赤果の混入も見られることから、引続き市況は弱めで推移する見込み。
大阪	本県産 兵庫県産 高知県産 宮崎県産	バラ A L 150g 袋 A L	800～500 30～	500～ 30～			本県産・兵庫県産・高知県産・宮崎県産（促成）の販売。 本県産は徐々に減少しており、産地背景は西日本へと変化してきている。今週入荷したものは品質が良かったものの、今まで続いた赤果混入が尾を引いており、品質が理由で引合いが弱くなってきているため、価格については弱含みでの販売となった。 来週についても、西日本の産地に台風被害はないとの予想から、価格は概ね弱保合での推移となる見込み。

品名 露地ねぎ

事務所	主力産地	主力等級	現在の価格	来週の予想価格	市場在庫状況	小売り状況	販売状況
東京	本県産	A 2 L A L	1,700～1,500 2,000～1,800	1,700～1,500 2,000～1,800			東北各産地中心に、北海道、新潟、長野県産の販売。 本県産をはじめとする東北各県産は順調な入荷となったが、関東近在産については降雨の影響から入荷が一時的に減少した。全国的に悪天候の影響を受け、軟腐等の発生も多くみられている。一方で、品質の不安感はあるものの、週末の特売需要等により引合いが強まり L 級を中心に一段上げての販売となった。 来週についても各産地ともに今週並みの出荷量を見込んでおり、相場は保合での販売となることが予想される。月末まで消費宣伝会を継続して実施し、売場の確保に努める。



品名 きゅうり

事務所	主力地	主力等級	現在の価格	来週の予想価格	市場在庫状況	小売り状況	販売状況
東京	本県産	Aコン	2,500~2,000	2,000~1,800			<p>関東近在産に加え東北各県産の販売となっている。</p> <p>東北産の露地物については終盤をむかえ出荷量は減少しているが、今週は関東近在産についても気温の低下から週末にかけ極端に入荷が減少し、価格は高騰した。</p> <p>来週は天候次第ではあるが、関東近在産は週半ばに一時的な気温の上昇がみられることから、週後半にかけて入荷量は増量する見込みとなっており、徐々に価格を下げながらの販売となる見込み。</p>

品名 にんじん

事務所	主力地	主力等級	現在の価格	来週の予想価格	市場在庫状況	小売り状況	販売状況
東京	北海道	本県産 A 2 L A L A M  北海道産 A 2 L A L A M	500~ 400 600~ 500 800~ 700  600~ 800~ 900~	500~ 600~ 700~  500~ 600~ 800~			<p>北海道産の入荷に加え、本県産の入荷が増えつつある。</p> <p>北海道産については製品率の低下から、出荷量は若干減少傾向で、積雪のあった地区については掘り取りが遅れ2~3日程度選果日が後ズレする見込み。千葉県産については富里地区の入荷が始まっているものの、細物中心の入荷に加え、連日の降雨や気温低下により生育は停滞している。</p> <p>今週は北海道・千葉県共に入荷の不安定な週となったが、加工業務向けの太物と量販向けのL・M級等荷動きの悪い状況が続いている。</p> <p>来週については千葉県産系統並びに商系業者の入荷も増量することから月末にかけて更に厳しい販売が見込まれる。</p>